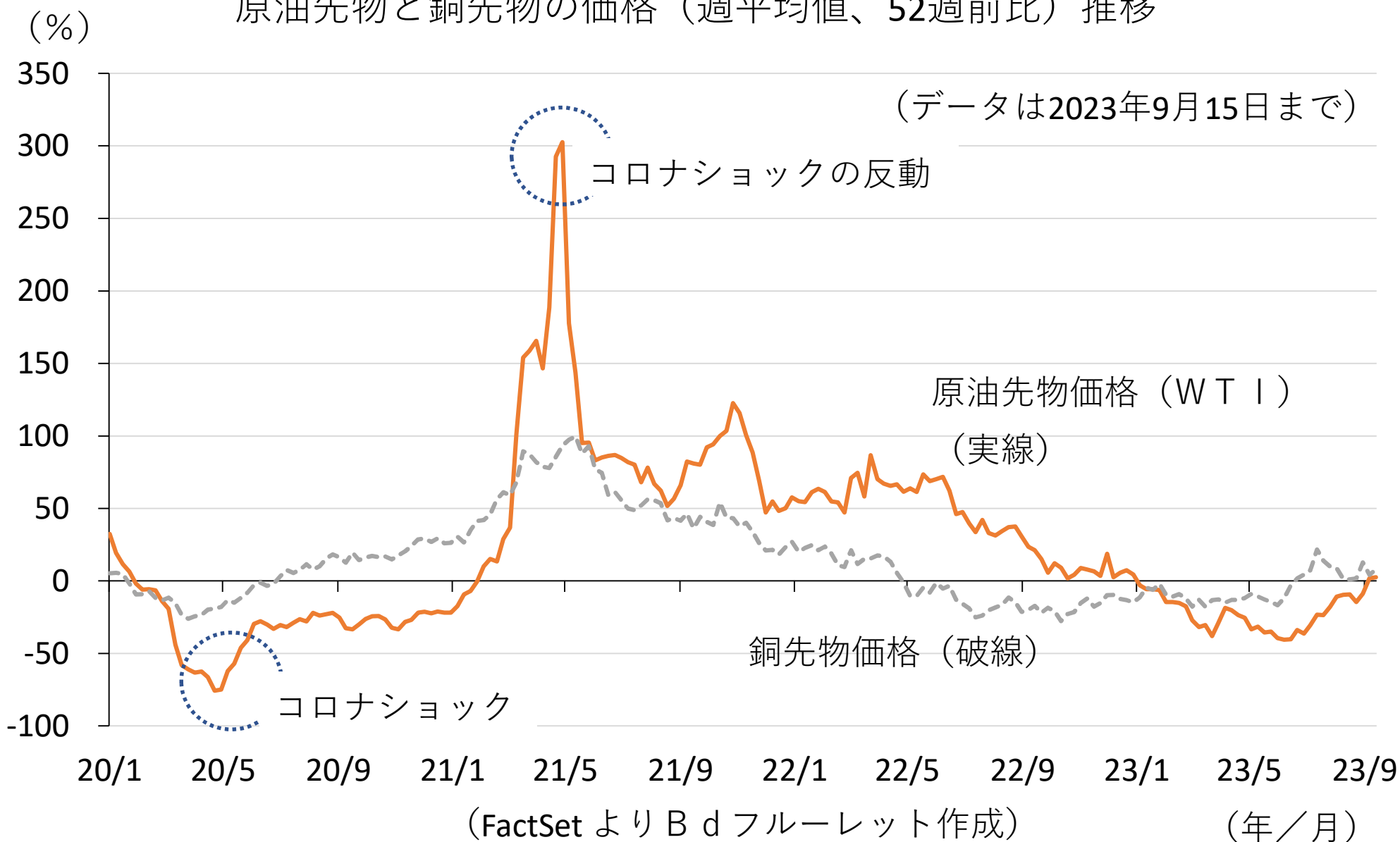


# 資源価格前年比は景気悪化を反映していたが、伏兵

原油先物と銅先物の価格（週平均値、52週前比）推移



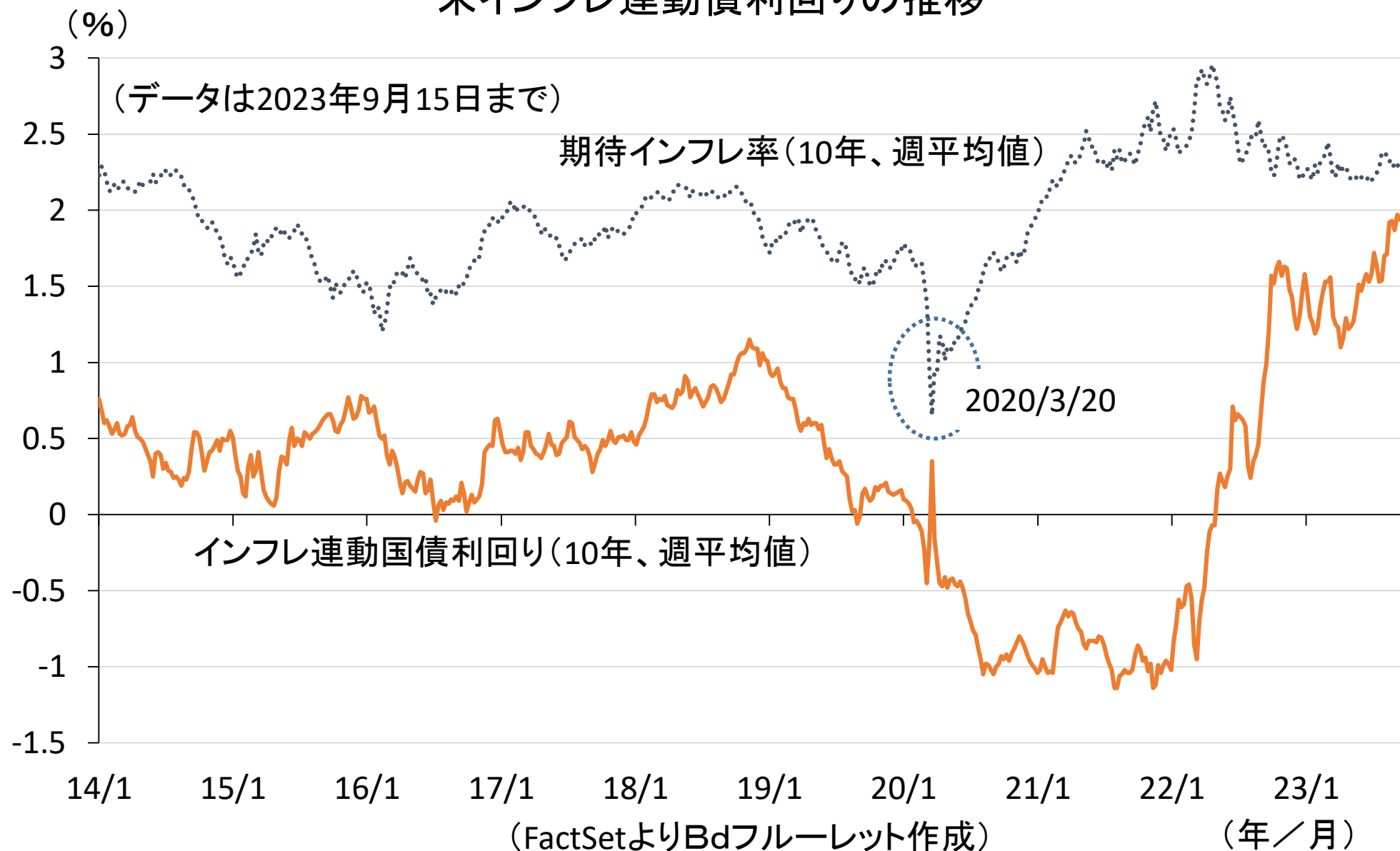
# 米10年国債市場は「横からの弾」で動揺

## 米10年国債利回りの推移



# 米10年国債利回りの上昇は、原油価格のせい??

## 米インフレ連動債利回りの推移



# 米国債券市場は、不意を突かれた

- 少し前までの米国長期債券市場は「景気が強くインフレ率が高止まりするなら金利上昇」「景気が弱くインフレ率が低下するなら金利低下」と、景気と物価ばかりを注目していた。
- そこへ、8/1(火)にフィッチが米国国債の格下げを発表し、8/2(水)には米財務省が国債の増発計画を公表したため、景気でも物価でもない、意外な債券の売り材料が出た形となって、投資家は不意を突かれ、債券利回りが上がり始めた(債券価格は下落し始めた)。以前は景気支持要因として好感されていた、半導体産業向けの補助金も、財政悪化要因だとの声があがり始めている。
- さらに、サウジアラビアが9月までの自主減産を12月末まで延長することを、9/5(火)に公表した。10月まで延長されるのではないか、との観測は以前からあったが、これを受けて原油価格が強含み、「景気がよくもないのに、供給要因でエネルギー価格が上昇する」との見解が優勢となって、株価の悪材料視されている。

# ユーロはECBの利上げを受けて下落

最近のユーロ・米ドル相場の動き

